

道419号線にも繋がり、交通量が急激に増加してきました。状況を踏まえて、行政が警察などと連携し、早期に対策を講じていただきたいと思えます。

都市整備グループ説明・回答

1点目について、工事で道路に穴をあけるとすぐに仮復旧して、通行に支障が出ないようにしています。舗装については、土の上という自然が相手ですので自然沈下などの現象があるのが仮復旧後土地が固まるまで待ち、本復旧するよな処置がとられますのでご理解ください。通行に支障がある場合は、都市整備グループまでご連絡いただければ、改善できる点は、早急に改善いたします。

2点目の通学路の安全確保については、市だけの力では全てを網羅することは難しいことです。市と地域の皆様の力を合わせれば、大変大きな力と成り得ますのでご協力ください。

3点目の碧南高浜線(碧南警察署の前から高浜の国道419号線までの道)の件は、碧南警察などと協議して大型店に交通や安全対策の申し入れを行った結果、入口と出口を分離して交通と安全対策を図ることとなりました。また、安全対策として安全表示をつける等も行っていきます。

Q1 ある市民の方から「鬼みちのレンガ敷きの道路に凸凹がある。」と苦情を受け市に連絡したら、早急に対応していただきました。ありがとうございます。しかし、舗装をしないおした面の色が、以前からの舗装面と違うのはなぜですか。

A1 鬼みちの色の付いている舗装は、路面が若干弱く剥けてきてしまったため、古い舗装と色が違って見えますが、施工方法は以前舗装したものと同じ作業をしています。

Q2 一方通行の道路を逆走し、てくる車を多々見かけます。標識などをわかりやすい位置に、わかりやすい標識で立てていただきたい。

A2 道路の交通規制は警察が管轄しているため、市が独自の交通標識を立てることはできません。今の標識がドライバークラから認識されにくいということが考えられます。見やすい場所がありましたら出したいのですが、今そのような場所の確保がされておられません。電光掲示板がありますので、その辺りを上手く活用するように考え警察と協議していきます。

Q3 大山緑地公園横の狭い路地が国道419号線の朝の渋滞等の抜け道となっている。危険なので、簡単にできる対策

は何かありませんか。大山公民館下の道路が通学路に指定されていて通学時間は進入禁止になっているにもかかわらず、車が入ってきて大変危険である。市で対応してもらえないか。

A3 抜け道となっている道や大山緑地と赤松住宅の間の道路については、以前にお話を承っております。また、危険なので、すぐに規制をかけたいということを経南警察署に相談しています。方策として、道路へのスピードを抑制するための凸凹をつけることや、道路を狭く見せる路上へのペイント表示などを検討していきたいと思えます。道路への乗り入れを規制することは、道路付近の住民の方にも配慮いただかなくてはならなくなるので、今後も協議してまいります。



ると思えます。

政策推進グループから説明(回答)

新田町貯木場浮き棧橋の撤去については、安全管理の面から渡り部分を撤去することにも、乗り入れ口について閉鎖することとしました。流作新田貯木場は、港湾計画により埋立が予定されています。



公園整備に関する周辺の生活道路整備については、現在造成中の高浜緑地の完成に向け、堤防管理道路の管理者である愛知県へ拡張工事を要望していきたいと思えます。市道につきましては、高浜緑地へのアクセスルートの検討や、道路状況、沿道利用状況などを踏まえ検討します。

港小学校区テーマ
地域防災意識向上に向けて
町内会から説明・質問
私たち田戸町、碧海町、一池

吉浜小学校区テーマ
きれいな町、安全な町、住みたくなる町を目指して
『ごみ出しのルール守って、環境美化とECO貢献』
町内会から説明・質問

環境に関しては各町内会や皆さんが日々感じている身近な問題です。もったいない精神で資源の節約と有効活用を図ることが大切です。その中でも資源となるごみを分別収集すれば有効活用することができ、町の環境美化にも繋がりますので、町内会を取り組んでいきます。

ごみ処理の問題点としては、可燃ごみステーションに資源ごみなどが捨てられ、収集日や場所に関係なく出されているのが現状です。ルールを守ってもらうための取り組みが必要です。各町内会の取組み状況は、町内会員の輪番による資源ごみ立ち当番や、夏場の明るい夕方の防犯パトロールの時にごみ拾いも行っていきます。また、町内会役員によるルール違反者への指導や一斉清掃への参加なども行っていきます。町内会の皆さんにこみの処理にまつわる苦情・要望について調査を行い、改善しました。

市への要望として、①カラス避けネットに使用する漁網の在庫の常時確保、②市としての力町内会は、港小学校区の南部まちづくり協議会の色々な活動とともにまちづくり活動を進めています。活動の基本は、一人ひとりが自分でできることは自分で、地域でしなければならぬことは地域で、行政と協働で取組まなければならないことはまちづくり特派員の皆さまに相談しながら、そして楽しみながら取り組むことです。

地域防災活動は、年数回の防災訓練や町内防災勉強会、他市の防災訓練見学などを行っています。防災に関わることで防災への取組みは着実に増加し、訓練などの内容も変化させながら継続されています。一方、形づくりにできていないものの、活動参加者は関係者が多く一般住民への浸透度は十分とは言えません。まち協と三町内会が連携して進めている防災活動は、地域が連携し地域を守る「総合防災」と、自らを守る「個別防災」です。この二点を柱として、各種活動が展開されてきました。

防災技術の確保は必要で、被害の減少や被災直後の処置活動能力を向上させ、地域の減災、小災に結びつけることを目的に救急救命講座、一般防災講座を受講し、地震、大雨、台風、火災等の災害に対する未然防止や被災処置、復旧活動等を学びま

した。平成20年には、日本防災士機構の防災専門講習に参加し、専門的、体系的防災活動力の知識を習得しながら資格を取得しています。救急救命の技術は防災訓練でも活用され、地域顔見知りのコーチで防災意識の盛り上げにも役立っています。本来の目的とする災害の未然防止や減災に繋がるように更に進めていきます。

町内会防災学習会を知識習得の機会が少ない住民に向けて町内会が主体となり、まち協、行政などの協力により実施しています。学習会後のアンケートから学習会に効果があると判断し、継続した活動へと推進していきたいと思えます。

防災管理は、小学校と中学校に設置してある防災倉庫の自主管理を町内会防災部が主体となつて行い、同様に地域のために防災備蓄の増強も少しずつはじめています。非常食は各町内会あたり30食以上の確保を目指し、寝具、燃料、日用品、救急薬なども追加中です。

防災に対する問題点や反省点があります。①総合防災訓練については、参加者が町内会役員などに固定化され、一般住民が少なく、地域全体の防災力を考えるとこれでは心配です。②個別防災訓練については、各町内

Q1 カラスの駆除は、市が行う必要があるのではないかと。西尾市の八ツ面山で駆除を行った例を参考に市と町内会で協力して進めてほしい。

A1 鳥獣保護の観点や市内に猟銃禁止区域もあり鉄砲が撃てないことから、市で駆除を行うことは難しいと思います。専門業者に確認したところ、西尾市の事例の様な仕掛けには、カラスは頭が良く、ほとんど入らないと聞いています。

Q2 毎年、市民一斉清掃と歩け歩け運動が重なってしまっている。日程を調整してほしい。

A2 NPO法人たかはまスポーツクラブと協議し、日程などの調整を行います。



『生活道路の見通し良くして、犯罪防止と事故防止』
町内会から説明・質問

吉浜小学校区では死傷者の数は減少しているもののやはりほろってはけません。町内会での防犯活動として、まち協子ど

ラス駆除の実施、③回収日に色のついた外国人用カレンダの作成、の3点をお願いしたいと思えますので、回答をお願いいたします。

市民生活グループから説明(回答)
1点目のカラス避けの漁網の常備について、漁網は碧南市の大浜漁港さんから譲っていただいています。在庫が無くお渡しできない状況でしたが、現在流作グラウンドでネットの張替えをしているところから、大量に譲り受けることができましたので、必要な時は市民生活グループに申し出てください。

2点目のカラス駆除の件については、市で直接駆除をしたり薬を撒いたりする予定はありません。しかし、ごみステーションにカラス避けのネットを張ることで、餌の調達が難しくなつて住みづらくなりカラスの減少に効果があります。

3点目の外国人用カレンダにも色が付いていた方がわかりやすくトラブルの回避にも繋がると思えますので、印刷にかかる費用などを調査し、検討いたします。また、一つのアイディアとして、日本語版の日付部分を貼り付ける方法もありますので、参考にしていただければと思います。